

平成30年度行政評価シート【個表】

平成 30 年 7 月 5 日

評価対象事業		評価者	歴史まちづくり推進担当担当課長 高木 明		
歴史-03	実施事業	日本遺産事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課	歴史まちづくり推進担当
			<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課	
総合計画上の位置付け	分野	歴史的遺産と共生するまちづくり	施策の方針	歴史的遺産と共生するまちづくり	

1 事業の目的

対象	鎌倉の歴史的遺産
意図	鎌倉の有形・無形の様々な文化財群を総合的に活用するため。
効果	鎌倉の魅力を国内外に発信することにより、歴史的遺産と共生するまちの実現が図られる。

2 平成29年度に実施した事業の概要

<ul style="list-style-type: none"> ・日本遺産いざ鎌倉協議会事務局として、協議会の事業遂行を円滑に進めた。 ・日本遺産いざ鎌倉協議会において、鎌倉の日本遺産のストーリーを紹介する情報紹介端末コンテンツの作成を行った。 ・日本遺産サミットに参加し、鎌倉の歴史・文化の魅力について情報発信を行った。 ・市民への普及啓発のために、平成28年度に作成したブックレットの配付やツイッターによる情報発信を行った。

3 事業費等基礎データ

データ区分	28年度決算		29年度決算		データ区分	30年度当初予算		備考
	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数		人 口	世 帯 数	
人口等の	176,869人	80,928世帯	176,466人	81,150世帯	176,308人	81,763世帯		・各年3月31日 (住民基本台帳)
事業の対象者数								
事業の対象者数								
運営資源状況	決算値(千円)	43	201		当初予算(千円)	1,099		
	国県支出金				国県支出金			
	地方債				地方債			
	その他				その他			
	一般財源	43	201		一般財源	1,099		
	人員配置数	0.8	0.8		人員配置数	1.5		
事業経費運営	人件費(千円)	6,181	6,322		人件費(千円)	12,438		
	総事業費(千円)	6,224	6,523		総事業費(千円)	13,537		
	市民1人当りの経費(円)	35	37		市民1人当りの経費(円)	77		
	対象者1人当りの経費(円)				対象者1人当りの経費(円)			

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効 率 性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	2. 統合に向けた検討は可能
妥 当 性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	2. 増大している
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きいか	1. 廃止・休止による影響はない
有 効 性	事業の成果は得られているか	2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きいか	3. 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
公 平 性	受益者負担は公正・公平か	△. 負担未導入 △-1. 今は受益者負担を求めているが、今後、負担の導入を検討する必要がある
	協 働	市民等と協働して事業を展開しているか ○. 協働実施済 協働実施済の場合のパートナー 日本遺産いざ鎌倉協議会（鎌倉市観光協会、鎌倉商工会議所、鎌倉風致保存会）
事業内容の方向性	<input type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す → <input checked="" type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする <input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する <input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する ⇒	見直し <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他
予算規模の方向性	<input type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする <input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由 予算額については、協議会の事務経費に対する負担金等、必要最低限のみ計上しており、削減等の余地はないと考えている。
総評(評価に対する考え方、根拠等)	日本遺産の具体的な事業については、市内関係団体で構成する日本遺産いざ鎌倉協議会で実施しており、歴史まちづくり推進担当は事務局を担っている。 国からの補助金が平成30年度で終了するが、日本遺産事業に取り組むことで、観光振興、地域活性化に寄与することが見込まれ、本市がめざす歴史的遺産と共生するまちづくりに繋がることから、協議会自立のための課題整理を行い、事業継続のための検討を進める必要がある。	

平成29年度事業実施にあたっての課題(前年度未解決の事項を含む)	関連部局、関連施設との連携を図りながら、継続的な情報発信等を行い、「歴史的遺産と共生するまちづくり」についての意識高揚を図っていく必要がある。また、国の補助金が認定後3年間で終了するため、協議会の自立化を促す必要がある。	
課題解決のために行った平成29年度の取組	<ul style="list-style-type: none"> 日本遺産いざ鎌倉協議会において、鎌倉の日本遺産のストーリーを紹介する情報紹介端末コンテンツの作成を行った。 ブックレットの配付やツイッターの開設により、市民への普及啓発、情報発信を行った。 	<input type="checkbox"/> 解決 <input checked="" type="checkbox"/> 一部解決 <input type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	国の補助金が平成30年度で終了するため、協議会の自立化について具体的な検討をする必要がある。	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項	日本遺産認定自治体									
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	葉山町	逗子市	三浦市	
他市実績	○				H30年度認定	○				

比較事項	日本遺産認定自治体									
団体名	横浜市	川崎市	伊勢原市	厚木市	大和市	海老名市	座間市	綾瀬市	秦野市	
他市実績			○							

比較事項	日本遺産認定自治体									
団体名	南足柄市									
他市実績										

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	今後、県内認定自治体と連携し、啓発を共に行う可能性について検討する必要がある。
----------------------	---

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	観光客の満足度	単位	%	指標の傾向	⇒	備考		
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31	第3期鎌倉市観光基本計画より。
当該事業の実施により、観光客の満足度を向上させるため。また、日本遺産を活用した活性化を測る指標として文化庁が設定しているため。	目標値	85.0%	85.0%	85.0%	85.0%	85.0%	85.0%	
	実績値	79.2%	79.5%	76.6%				
	達成率	93.2%	93.5%	90.1%				

指標の内容	市民意識調査「鎌倉に住み続けたいかどうか」(市民の市への愛着度)の回答率	単位	%	指標の傾向	⇒	備考		
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31	
当該事業の実施により、市民が本市に住み続けたいと感じてもらうため。また、日本遺産を核としたコミュニティの再生・活性化を測る指標として文化庁が設定しているため。	目標値	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
	実績値	84.7	83.1	86.5	86.8			
	達成率	84.7%	83.1%	86.5%	86.8%			

指標の内容	歴史まちづくり推進担当ツイッターフォロワー数	単位	人	指標の傾向		備考		
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31	ツイッターは平成29年10月開始。
市民への普及啓発、情報発信の浸透状況を把握するため。	目標値	-	-	-	125	375	625	
	実績値	-	-	-	122			
	達成率	-	-	-	97.6%			

当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方	日本遺産事業を実施することで、歴史的遺産と共生するまちづくりの推進をはじめ、観光振興事業等に寄与することが期待されるため、今後も市民や観光客に対して、鎌倉の魅力や価値をより深く理解してもらうための情報発信などの取組を行い、満足度及び愛着度の向上に努めていく。
-----------------------	---